



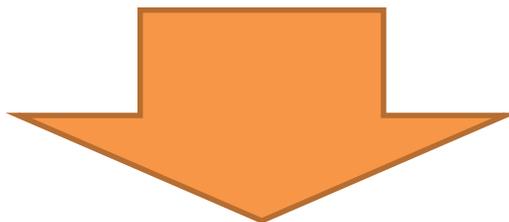
技術検討作業班の今後の進め方

2019年11月26日

新世代モバイル通信システム委員会
技術検討作業班
事務局

検討経過

- 第11回技術検討作業班（平成31年2月27日開催）から第17回技術検討作業班（令和元年10月7日開催）にかけて、主に、新たな5G候補周波数の共用検討、既存バンドのNR化の共用検討、定期検査の緩和について検討を行ってきたところ
- 新たな5G候補周波数については、これまで携帯電話用として技術的条件を定めてきた周波数よりも更に高い周波数である40GHz帯を候補としており、共用検討に加え、そのユースケースについて、これまでの周波数とは異なる視点も含めて検討する必要があるところ
- 他方で、既存バンドのNR化と定期検査の緩和については、本年4月に割当を行った5G周波数と組み合わせた5Gの円滑な導入に向け、早期の取りまとめが期待されている



これまでの経過を踏まえ、今後の技術検討作業班は以下の方針で進めることとしたい

- 「新たな5G候補周波数」と「既存バンドのNR化及び定期検査の緩和」を切り分けて検討する
- まずは既存バンドのNR化及び定期検査の緩和について集中的に審議し、取りまとめを行うこととする
- その後、新たな5G候補周波数のユースケース等について検討を行う

情通審スケジュール (案)

1. 検討事項

- 新たな5G候補周波数帯の検討
- 既存バンドのNR化の検討
- 定期検査の緩和について

2. スケジュール

